

調查票

一万人アンケートご協力をお願い

日頃は県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三重県では平成16年3月に総合計画「県民しあわせプラン」を策定しました。

この総合計画では、「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」をめざし、「県民が主役の県政」を推進することとしています。このことを着実に推進するためには、県民の皆様のご意見、ご要望等（ニーズ）を把握して県政に反映していくことが重要と考えており、毎年、一万人の県民の方にアンケート調査をお願いしています。

このたび、平成17年度のアンケートを実施させていただくにあたり、ご協力いただく方を選挙人名簿から無作為に選ばせていただきましたところ、あなたが選ばれました。突然のお願いで申し訳ございませんが、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは無記名式です。お名前、ご住所を記入していただく必要はございません。お答えいただいた内容はすべて統計的に処理しますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。また、調査・分析については、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しておりますが、その旨は徹底いたしております。

一万人アンケートは、日々の業務において県民の皆様からいただくご意見に加えて、毎年の県政運営の指針の策定に合わせて、県行政の各分野での県民の皆様のニーズを把握するためにご協力をお願いしている重要な調査です。

ぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成17年5月

三重県知事 聖名昭彦

アンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

平成17年5月31日(火)までに

ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

このアンケートについてのお問い合わせはお気軽に下記までお願いいたします。

三重県総合企画局政策推進室

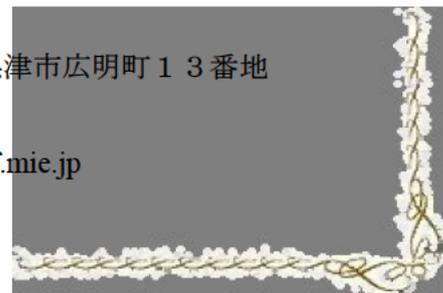
電話 059-224-2025

FAX 059-224-2075

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

担当 岡本、清水

Email seisaku@pref.mie.jp



このアンケート調査は、次の4つのテーマで構成しています。

1. 三重県の住みやすさについて
2. 分野別の44項目について
3. 地域の人々のつながりと活動に関する意識について
4. 広報広聴活動について

そして、最後に、自由にご意見を記入いただくとともに、あなたご自身のことについておたずねしています。

お手数をおかけしますが、御協力くださいますようお願い申し上げます。

（記入上のお願い）

- ・あて名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。事情により、ご本人様がお答えできない場合は、回答や返送の必要はございません。
- ・このアンケートは無記名式です。お名前、ご住所を記入いただく必要はございません。
- ・黒のボールペンや濃い鉛筆などでハッキリとご記入ください。
- ・お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。
なお、つけられる○の数は設問によって異なりますのでご注意ください。
- ・記入漏れがないかお確かめのうえ、同封いたしました返信用の封筒に入れて、平成17年5月31日（火）までにご返送ください。

なお、ご回答いただきましたアンケートの集計結果につきましては
三重県ホームページ（URL <http://www.pref.mie.jp/>）
に平成17年10月頃掲載の予定です。

1. 三重県の住みやすさについての質問

問1-1 あなたにとって、三重県は住みやすい県ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問1-2 あなたは今後も三重県に住みたいと思いますか。(○は1つ)

※家庭の事情などによるやむを得ない転居は除いてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 三重県内の別の場所に住みたい |
| 3. 県外に住みたい | 4. どちらでもよい、わからない |

問1-3 問1-1及び1-2のお答えについて、特に感じる事があればご自由にお書きください。

2. 分野別の質問

問2 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。

あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。

また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足されていますか。

さらに、そうした行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

分野は44項目、6ページ分あります。項目数が多くなり申し訳ありませんが、記入例にしたがい、重要意識、満足意識、認知意識それぞれに○を1つつつけてください。

※質問表は見開きの状態でご記入ください。

【 記 入 例 】	家族がそれぞれ自分の部屋を持てるような家に住むことができること。
1. 人権尊重	性別、出身地、障害の有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。
2. 生涯学習	誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。
3. 学校教育	児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。
4. 青少年の健全育成	青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけ健全に育っていること。
5. 高等教育機関	県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。
6. 市民活動	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。
7. 文化・芸術	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。
8. 歴史・文化遺産	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。
9. スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。
10. 地域での防災の取組	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていること。
11. 災害対策	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。
12. 交通安全	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。
13. 防犯	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。
14. 食の安全	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

重 要 意 識					
重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない

満 足 意 識					
満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない

認 知 意 識			
取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない

記入例	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
1	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
2	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
3	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
4	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
5	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
6	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
7	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
8	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
9	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
10	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
11	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
12	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
13	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
14	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4

※質問表は見開きの状態でご記入ください。

15. 高齢者、障害者の社会参加	高齢者や障害者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。
16. 保健予防体制	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。
17. 子育て環境	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。
18. 医療体制	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。
19. 福祉サービス	高齢者・障害者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。
20. 自然環境との共生	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。
21. 希少な生物	希少な野生動物や植物が保護されていること。
22. ごみの減量	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。
23. きれいな空気	空気が汚染されておらず、きれいであること。
24. 川や海の水質	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。
25. 地球温暖化防止	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出がおさえられたり、森林による吸収が高められていること。
26. 農林水産業の振興	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。
27. 産業振興	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。
28. 観光	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの人が三重県を訪れること。
29. 技術開発	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。
30. 地域商工業	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。
31. 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。

	重要意識						→	満足意識						→	認知意識			
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
15	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
16	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
17	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
18	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
19	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
20	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
21	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
22	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
23	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
24	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
25	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
26	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
27	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
28	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
29	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
30	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
31	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4

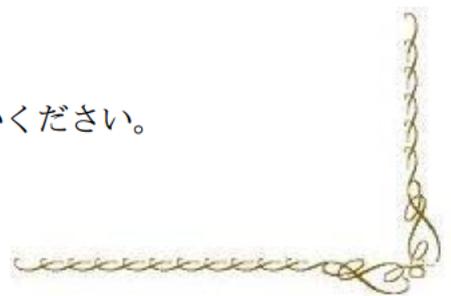
※質問表は見開きの状態でご記入ください。

32. 職業能力開発	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。
33. 国際化	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。
34. 広域交流・連携	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。
35. 情報ネットワーク	ケーブルテレビ網やインターネットなどを利用して様々な情報を得ることができること。
36. 高速交通網	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。
37. 道路の整備	道路が整備され、快適に移動できること。
38. 公共交通機関	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。
39. 港の整備	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。
40. 快適なまちづくり	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。
41. 農山漁村づくり	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。
42. 過疎地域等の振興	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。
43. エネルギー	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。
44. 飲料水の供給	安心して飲める水が安定的に供給されること。

	重要意識						→	満足意識						→	認知意識			
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
32	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
33	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
34	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
35	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
36	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
37	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
38	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
39	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
40	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
41	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
42	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
43	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
44	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4

ご協力ありがとうございます。

質問が多くて申し訳ありませんが、もうしばらくお付き合いください。



3. 「地域の人のつながりと活動に関する意識」についての調査

I 地域の人のつながりに関する意識調査

人々の身近な生活の場としての地域は、そこに住んでいる人々の様々な交流や連携が行われる場です。個人のライフスタイルや価値観が多様化し、少子・高齢化の進展など社会環境が変化するなか、地域における人々の意識や活動も変化してきています。

ここでは地域における近所付き合いや地域活動などについての意識をお尋ねします。

問3-1 あなたは、現在どの程度近所付き合いをしていますか？（○は1つ）

1. とても親しく付き合っている。
2. わりと親しく付き合っている。
3. 付き合いはしているがそれほど親しくはない。
4. ほとんど、もしくは、全く付き合っていない。

問3-2 あなたは、今後どの程度近所付き合いをしたいと思いますか？（○は1つ）

1. とても親しく付き合いたい。
2. わりと親しく付き合いたい。
3. 付き合いはしているがそれほど親しくなくてよい。
4. ほとんど、もしくは、全く付き合いたくない。

問3-3 近年、NPO（民間非営利団体）と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっていますが、あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか？（○は1つ）

1. 現在、積極的に参加している。
2. 現在、お付き合いで参加している。
3. 過去に参加したことがあります、また参加したい。
4. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない。
5. これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい。
6. これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい。
7. これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない。

【問3-3で、1~4に○をつけた方だけにお伺いします。】

問3-4 NPOやボランティア、地域での活動に参加する際に苦勞すること、または、参加できない要因となることはどんなことですか？（○は1つ）

1. 身近に団体や活動内容に関する情報がないこと。
2. 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がないこと。
3. 身近に一緒に参加できる適当な人がいないこと。
4. 参加するきっかけが得られないこと。
5. 家族や職場の理解が得られないこと。
6. 活動する時間がないこと。
7. 活動によって得られるメリットが期待できないこと。
8. 全く興味がわからないこと。
9. その他（具体的に： _____)

II 「新しい時代の公」の取り組みについての意識調査

三重県では、県民一人ひとり、NPO、地域の団体、企業、市町村、県など多様な主体が力を合わせて地域をより良くしていくことや、その活動を「新しい時代の公」と呼び、その取り組みを推進しています。

「新しい時代の公」を推進することによって、県民のみなさんが主体的に地域について考え、意思形成し、地域をつくっていくという社会づくりを目指しています。

そこで、「新しい時代の公」の取り組みについてお尋ねします。

問3-5 あなたは、「新しい時代の公」という言葉を、知っていましたか。（○は1つ）

1. よく知っている。
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない。
3. このアンケートではじめて知った。

問3-6 あなたは、「新しい時代の公」の取り組みを、どのように思いますか？（○は1つ）

1. 大いに進めるべきである。
2. 大切だと思うが、まず考え方を広めていくべきである。
3. 今のところは必要とは思わない。

4. 広報広聴活動についての質問

問4-1 あなたは、県が行っている施策や事業について、どこから情報を得ていますか？（〇はいくつでも）

1. 県の広報紙「県政だより みえ」など
2. 新聞広告「広報みえ」、「全面広告」など
3. 三重テレビ「県政ウオッチング」（金曜日 22:15～22:30）
4. FM三重、東海ラジオ、CBCラジオ
「三重県からのお知らせ」「こんにちは三重県です」「三重県の窓」など
5. テレビ文字放送「広報の窓 三重県」
6. 新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど
7. 県庁関係のインターネットホームページ(<http://www.pref.mie.jp/>)など
8. その他（具体的に： _____）

問4-2 今後県の情報提供を充実するためには、どのような方法が良いと思いますか？（〇はいくつでも）

1. 県の広報紙「県政だより みえ」の充実
2. 県提供テレビ・ラジオ番組の充実
3. 新聞広告の充実
4. 報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実
5. その他（具体的に： _____）

問4-3 「県政だより みえ」（各戸配布の県の広報紙）は、どの程度役に立つと思いますか？（〇は1つ）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 役に立つ。 | 2. 少しは役に立つ。 |
| 3. あまり役に立たない。 | 4. 役に立たない。 |

問4-4 県民の皆さんの意見や要望をより一層県政に反映させるためには、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか？（〇はいくつでも）

1. 公聴会（意見聞き取り会）等の積極的な実施
2. インターネットによる「ネットで県民参画（e-デモ会議室）」などの充実
3. アンケート調査等による定期的な県民意見の把握
4. 県民提案（相談）窓口の充実
5. 「知事と語ろう本音でトーク」や「みえ出前トーク」などの充実
6. その他（具体的に： _____）

5. あなたのご自由な意見をお伺いします。

問5 このたびのアンケートに対するご感想、または三重県行政に対するご意見などございましたらご自由にお書きください。今後の参考にさせていただきます。

A large rounded rectangular box with a solid black border and rounded corners. Inside the box, there are 15 horizontal dashed lines spaced evenly, providing a guide for writing. The box is currently empty.

